

電子情報通信学会「学術奨励賞」を受賞



平成23年度電子情報通信学会の表彰式が2012年3月21日に岡山大学で行われ、電気工学専攻博士後期課程の岸本誠也さんが「学術奨励賞」を受賞しました。

対象論文は次の2件です。

論文名 : Analysis of Electromagnetic Problems for Metallic Nanospheres Using Curvilinear Patches

(日本語) : 曲面パッチを用いた微小金属球の電磁界解析

論文名 : Transient Analysis of Nanoscale Electromagnetic Fields by an Integral Equation Method

(日本語) : 積分方程式法によるナノ領域過渡電磁界解析

研究内容は、ナノスケールデバイスの設計や解析に有用な、新しい電磁界シミュレーション法の開発です。従来の方法に比べて、100倍以上の高速なシミュレーションが可能となり、より信頼性の高いデータが得られます。発表論文では、微小金属球に対する電磁界解析や光直接記録用のナノスケールアンテナの設計を行い、提案手法の妥当性と有効性を明らかにしました。これらの研究成果が評価され、今回の受賞に至りました。

本研究は日本大学N. 研究プロジェクトの支援を受けて実施されています。

